

北九州市 児童福祉施設等 第三者評価結果票

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 事業者名(法人名) | 北九州市 |
| (2) 事業所名 | 北九州市立 折尾保育所 |
| (3) 所在地 | 北九州市八幡西区北鷹見町12番24号 |
| (3) 電話番号 | 093-691-0624 |

2 評価実施日

平成15年12月12日

3 評価実施者

北九州市(北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会)

4 評価結果

総合評価

保育所はJ R折尾駅から歩いて5分の場所に位置し、学園都市にある都市型の施設です。当保育所では自然との触れ合いが大切にされており、園庭はしいの木や桜などの様々な木々に囲まれ、中でも保育所のシンボルである大きな楠木では子どもたちがタイヤブランコを楽しんでいます。

保育内容については独自に作成された領域別の年間計画のもと、0歳児から一貫した取り組みが行われています。特に「遊び」については全職員で検討が行われ、「遊び」を通して子どもの発達を促す保育が展開されており評価できます。また絵本の読み聞かせが保育に積極的に取り入れられ、保護者に対しては「今日の絵本」を展示、紹介するほか、絵本だよりの発行や絵本の貸し出しなどの啓発も行われています。

食事への関心や意欲を高める取り組みとして、高校生と子どもによるパン作りや、菜園活動で収穫された野菜を使用したカレー作りなどのクッキング活動が積極的に行われています。

保育環境はプロジェクトチームを中心に子どもが快適に過ごせるような環境作りが行われ、手作りの玩具や教材が数多く用意されるなど、五感に優しい温かみのある保育環境が整えられています。

乳児保育については、子ども一人一人の生活リズムに対応できるよう保育室が遊びと生活の場に分けられ、保育士の言葉かけや対応も温かく、落ち着いた家庭的な雰囲気の中で保育が行われています。

交通の便が良く、学園都市にあるため長年多くの実習生（年間約60名）やボランティアを受け入れ、人材育成に貢献し、社会にとって大きな役割を果たしています。

クラス懇談会は年2回、個人懇談や個別相談は必要に応じて実施されていますが、今後は個人懇談の定期的な実施が望まれます。

児童虐待については所内外研修が実施され、県や市の専門機関、区のケースワーカー、地域の民生委員と密な連携が図られています。虐待を疑われる事例を退所後の現在も見守り続けたり、民生委員と連携し地域内の虐待の早期発見に努めるなど、良い取り組みが行われています。

危機管理の面では様々なケースを想定し、警察や警備会社への通報体制や避難経路の確保などの危機対策を検討しており、評価できます。

評価対象ごとの評価（概要）

評価対象	評価結果
<p>子どもの発達援助</p> <p>一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。</p>	<p>保護者の意向や地域の文化を取り入れた保育計画が策定されるとともに、独自の領域別の年間計画が作成され、0歳児より一貫した取り組みが行われていることは評価できます。</p> <p>指導計画の策定や保育の記録が整理されており、ケース会議（具体的な事例検討）も定期的に行われ、検討結果が保育実践に生かされています。</p> <p>健康管理や感染症については年間計画やマニュアルが整備され、嘱託医や地域の小児科医との連携のもと、体調のよくない子どもへの対応、保護者への情報提供、健康対策などが適切に行われています。</p> <p>給食については必要に応じて保護者へ喫食状況が伝達され、給食だよりの配布や試食会が行われています。また、子どもが菜園活動で収穫した野菜を使用したカレー作りや高校生とのパン作りなど、積極的なクッキング活動がなされ評価できます。アレルギー疾患の子どもが8名在籍しており、医師の診断書と指示書をもとに四者協議の上、除去食が提供されています。</p> <p>保育環境については、プロジェクトチームを組んで、限られたスペースの中で子どもが快適に過ごせるような環境作りの取り組みがなされています。園庭には菜園や築山、シンボルの楠の大木やかえで、しいの木など自然との触れ合いが楽しめる環境が整えられています。保育室には手作りの玩具、教材、おもちゃ箱などが数多く用意され、給食時は当番が手作りのエプロンや三角巾を着用するなど、五感に優しい温かみのある保育環境が用意されています。</p> <p>日々の保育では、散歩や絵本の読み聞かせを通して豊かな感性や想像力が育まれています。また遊びの年間計画が立てられ、子どもの発達などが考慮された様々な遊び（運動遊び、集団遊び、ごっこ遊びなど）が計画的に展開されています。更には園内研修で遊びの保育実践発表を行うなど意欲的な取り組みが行われており、評価できます。</p> <p>乳児保育については、一人一人の生活リズムに対応できるよう保育室をベッドや手作りの箱トンネルで区切り、生活と遊びの場を分けるなどの工夫が見られます。また、保育士の言葉かけや対応が温かく、落ち着いた家庭的な雰囲気の中で保育が行われています。</p>

<p>子育て支援</p> <p>子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取り組みなどを評価したものです。</p>	<p>日常の保育に必要な情報は文書化され、関係職員に口頭や文書を通して共有されています。</p> <p>クラス懇談会は年2回、個人懇談や個別相談は必要に応じて実施されていますが、今後は個人懇談の定期的な実施が望まれます。</p> <p>地域の子育て支援として「遊ぼう会」が年2回開催され、地域の育児サークルや関係機関との積極的な連携が図られています。</p> <p>児童虐待については所内外研修をはじめとして、県と市の児童相談所や区のケースワーカーなどとの連携を密に図りながらの取り組みがなされています。虐待を疑われる事例については退所後の現在も見守りが続けられ、地域内の子育て家庭については、年2回地域の民生委員との情報交換が行われ、虐待の早期発見に努めるなど、良い取り組みが行われています。</p>
<p>地域住民や関係機関等との連携</p> <p>地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。</p>	<p>交通の便がよく学園都市に隣接しているため、年間60名以上の実習生やボランティアが受け入れられ、それぞれの目的に応じたプログラムの提供や職員との意見交換などがなされており、人材育成に貢献していることは高く評価できます。</p> <p>地域の関係機関からの情報は保護者が利用しやすいように内容ごとに整理されています。また、緊急連絡用、掲示用、書架用など機能的に整理され、全職員に保管場所や保管方法が周知されています。</p> <p>小学校の職員とは連絡会や授業参観などで密な連携が図られており、学芸会の参観や小学生の総合的学習での来所などで子ども同士の交流が深められています。今後は近隣の保育所や幼稚園との連携が望まれます。</p> <p>地域の住民や関係機関とは、各種行事の折に説明を行ったり、協力を依頼したりするなどの連携が図られています。</p>
<p>運営管理</p> <p>保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修などの取り組みがなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。</p>	<p>保育の質の向上に向け月1回の職員会議のほか、月2回以上昼会議を行い、保育の問題や課題について検討されています。また、議題の事前打ち合わせや原案作りを行う園内研修プロジェクトチームを作り、機能的に職員会議を進めていることは評価できます。</p> <p>守秘義務については保育指針、保育士会倫理綱領に基づく規定が定められ、職員に周知されるとともに、職場外研修への参加や所内研修も積極的に行われています。問題事例に対して職員会議で議題にされていますが、経過報告や対処法についての意見交換に留まっているので、全職員による徹底した原因分析と対策が望まれます。</p> <p>危機管理の面では様々なケースを想定し、警察や警備会社への通報体制、避難経路の確保などの危機対策が検討され、マニュアルの整備、職員研修、実地訓練などが行われていることは評価できます。</p>